

平成28年度

○学校教育目標

「豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成」

<目指す子供像>

- ・ 考える子 … 自ら考え、進んで学習に取り組む子供
- ・ 思いやりのある子 … 互いを尊重し、仲良く助け合う子供
- ・ 健やかな子 … 運動に親しみ、健康・安全に心がける子供

○ 本年度の重点目標

自己肯定感の向上(自他のよさを表現できる子の育成)

- ・ 落ち着いて学習に取り組む子の育成
- ・ 健やかな人間関係を築く子の育成
- ・ 友達のよさを見付けて表現できる子の育成

○ 学校運営の方針

(1) 安心して通える学校

- ・ 危機管理意識をもって安全指導を行い、危機予測及び危機回避能力を育てる。
- ・ いじめ問題に関して基本的な認識をしっかりともち、あらゆる場面を捉えて未然防止に努める。
- ・ 日頃から、教職員間で問題行動等の情報を共有し、全教職員が一致協力して指導に当たる。
- ・ 「道徳の時間」を要とした道徳教育を推進し、自他の生命を大切にする心を育てる。

(2) 学ぶ喜びがある学校

- ・ みんなで楽しく学ぶための「国吉っ子スタンダード」を通して、規律ある学習態度を育む。
- ・ 特別支援教育の視点を生かした「分かりやすい授業づくり」に努める。
- ・ 「生徒指導の機能を生かした授業づくり」や「温かい学級づくり」に努める。
- ・ ICT機器の活用を図り、学習意欲の向上に努める。

(3) 一人一人が大切にされる学校

- ・ 「受容」と「共感」を基盤とし、教師と児童、児童相互の温かい人間関係の確立に努める。
- ・ 人権を大切にする言語環境の整備に努める。
- ・ 友達や地域・自然と関わり合う豊かな体験活動を積み重ねる。
- ・ 児童一人一人の可能性を積極的に見付けるとともに、個性を伸ばす。

(4) 教職員にとって、働きがいのある学校

- ・ 日常的な校内研修の充実を図り、児童一人一人の小さな変容を認め合うことで、専門的能力を高め合う教職員の間人間関係づくりに努める。
- ・ 教職員のアイデアを積極的に学校運営に生かし、「教職員一人一人が学校運営者」としての自覚をもつ。

(5) 家庭・地域にとって、信頼できる学校

- ・ 家庭と連携を図り、基本的生活習慣と学習の基盤づくりに努める。
- ・ 家庭や地域との対話を進め、学校の教育活動状況や成果・課題を積極的に発信する。
- ・ 学校評価を通して、地域の教育力を生かし、教育活動の改善を図る。